

目的

県北管内の高校生と、地域で仕事・活動している方や、外からの視点を持つ方等との交流により多様な「キャリアサンプル」や「地域の魅力」に触れることで、進路の『選択肢』や『可能性』への気付きを促すとともに、地元で暮らし働くことが、将来の選択肢となることを目指す。

福島県総合計画

(計画期間：令和4(2022)～令和12(2030)年度)

ふくしまの将来の姿：“ひとを大切に作る(=ひと)” “安心・快適に暮らせる(=暮らし)” “働きたい場所(仕事)がある(=しごと)” “ひと” “暮らし” “しごと” が調和しながらシンカ(深化、進化、新化)する豊かな社会

県北地域の主要施策

※キャリア教育関連

施策2

多彩な交流を通じた地域の活性化

- ・小中高での県北地方の歴史・文化等の理解促進、地域コミュニティを担う人材育成

施策3

地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保

- ・小学校段階からの継続的なキャリア教育推進
- ・県立高校における職業観や進路意識の醸成
- ・地域で働くことの魅力の発信、地元への就職促進

現状・課題

1 人口(県北管内)

(1) 人口推移 ※直近10年間 H25年：47.8万人→R4年：45.7万人(▲2.1万人)

(2) 社会動態 ※県外移動 R4年：▲1,022人

【県全体】20～24歳：▲2,708人(52%) 15～19歳：▲1,252人(24%) 25～29歳：▲704人(14%)

※出典：福島県の人口推計(令和4年版)

2 若者が地方から転出する理由

- ・「やりたい仕事、やりがいのある仕事が見つからない」(58.9%)
- ・「東京(首都圏)と比べて年収が少ない」(56.1%)
- ・「若者が楽しめる場所や施設が少ない」(53.5%)

※出典：東北活性研vol43

3 進路選択・キャリア教育

【高校3年生】「将来の生き方」や「進路」を考えるため、指導してほしいこと

- ・自分の個性や適性(向き・不向き)を考える学習(33.5%)
- ・社会人、職業人としての常識やマナー(22.9%)

※出典：キャリア教育に関する総合的研究(R2年3月)

【先生(高校)】「キャリア教育」を進める上で「外部との連携」を進めたい理由

- ・働くことにリアルなイメージを持たせたい
- ・教師が見えない部分を補完してほしい
- ・多様な人から学ばせたい

※出典：高校の就職指導キャリア教育に関する調査(2021年リクルートワークス)

令和5年度実施内容

1 高校生meet up 「進路のモヤモヤ解消ワークショップ」～進学やしごとのあれこれ～

対象：県北管内の高校生(1～3年生) ※公立・私立すべての高校生
内容：「地域で仕事・活動している方」や「外からの視点を持つ方」との交流を通して
・進路についてのモヤモヤの解消
・これまでになかった新たな気付きにより「自分らしい選択」へとつなげる

※ 高校生が「聞きたいこと」を自由に聞ける場

- ・この学部に行ったら、どんな仕事に就けるの？
- ・志望校(就職先)はどうやって決めたの？
- ・今の仕事のやりがいって、どんなところ？ など何でも

募集人数：延べ120人(10回×12人)

講師：活動分野(想定)

- ・医療・公務・教育・保育・理美容
- ・食・デザイン・農業 など

場所：高校生が集まりやすい場所(福島駅周辺など)

2 地域の「ひと」「もの」「こと」魅力発信～地域の魅力に触れてみよう！～

内容：「高校生meet up ワークショップ」の様子を発信(進学やしごとについての質問、アドバイスなど：SNS等)

※ 高校生が「聞きたいこと」を広く発信

※ 高校の探究学習の参考となる地域の「ひと」「もの」「こと」に関する情報を広く発信

(成果指標・目標値)

「新たな視点で地域を見られるようになった」参加者：80%以上

『地域創生総合支援事業』【県北地方振興局】

- ・個性と魅力ある地域づくり支援(サポート事業)
- ・移住・定住の推進(移住者と地域とのつながりづくり)
- ・高校生向け就職ガイド(働きやすい職場づくりに取り組む管内企業、若手職員の声紹介)
- ・地域おこし協力隊定着支援

ワークショップ講師

若者の声を活動に反映

『重点施策加速化事業』【県北地方振興局】

- ・地域のしごと、地域の魅力に触れる体験(小中学生)

※次世代産業やイノベーション分野などにチャレンジする企業での見学・体験、地域の魅力(食・文化など)に触れる体験

ワークショップ講師

若者の声を事業に反映

地域で活躍するひとの情報共有

高校生への周知

進路を考えるきっかけづくり

進路目標の実現へ

『ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業』(5～)【高校教育課】

- ・地域ネットワーク推進委員(7方部) 地域探究活動を推進するための若手人材、外部人材をリスト化
- ・地域人材の教材化

『特色あるコース制(県立高校 普通科)』【高校教育課】 ※原則2年生～

- ・同一の進路希望を持つ生徒への教育プログラムを実施(体験学習、特別講座、講演会等)

(県北) 福島高校：医学(4～) 橘：保健・医療(4～) 福島東：教育(5～)

【地域づくり】若者の声をいかした活動の推進

【高校生】地域の大人との交流を通じた、将来の「選択肢」や「可能性」への気付き

【高校】地域と連携した探究活動の推進

R5：若者と地域の交流・理解を促進 若者の声をいかした「地域活性化」のベースをつくる

R6：若者と地域のハブとなるコミュニティが地域との協働で生まれることをめざす